

1  
17

**日本一のコデマリ産地、出荷最盛期**  
「こでまり」目ぞろい会



可憐で純白の小さな花が手まりのような形を作ることで人気の「こでまり」の出荷が始まりました。最盛期を前に目ぞろい会を開き、生産者ら約50人が参加。高品質出荷を申し合わせました。4月上旬まで関東、関西を中心に全国へ出荷します。

1  
17

**一つ一つ丁寧に箱詰めされ皇室へ**  
第55回献上ミカン・ネーブル箱詰め式



1月10日、皇室へ献上する柑橘の審査会が浜松市北行政センターで開かれ、温州ミカンの部で村上隆啓さん、白柳ネーブルの部で野澤義雄さんが最優秀賞を受賞しました。1月17日に表彰式と箱詰め式が行われ、19日に皇室へ献上されました。

1  
10

**地産地消を推進する湖西市**  
「とぴあ浜松ボーグ荒びきワインナー」が給食に登場

湖西市の畜産農家で組織する畜産環境衛生対策協議会は、湖西市産の豚肉を使つた「とぴあ浜松ボーグ荒びきワインナー」を湖西市に贈呈。影山市長さんに目録を手渡しました。寄贈されたワインナーは小中学校の給食に登場しました。

1  
4

**日本一早く特產品を出荷**  
新タマネギの初出荷

新タマネギの本格出荷が年明け早々に始まりました。白タマネギ「サラダオニオン」と黄タマネギ「はるたま」は、いずれも玉肌がきれいで、柔らかくてみずみずしく、シャキシャキとした食感が特徴です。東京の市場を中心に、各地の市場へ出荷されました。

1  
24

**育てた野菜を対面販売**  
来店客へ積極的にPR



「とぴあ園芸教室」野菜コース応用編の受講生8人が、ファーマーズマーケット白脇店で、育てた野菜を対面販売しました。売り場にはダイコンやキャベツなど約15種類の野菜が並び、受講生の1人は「これからもお客様に喜ばれる野菜を作りたい」と話しました。

1  
22

**品質、形状、荷姿すべてが高レベル**  
JAとぴあ浜松 第5回農産物品評会



野菜の産地強化や栽培技術の研究、PRも含めた農業振興策として、「JAとぴあ浜松 第5回農産物品評会」を西北営農施設で開催。生産者から18品目240点が出品され、品目ごとに荷姿や形状などを審査し金・銀・銅賞を決定しました。

1  
17

**女性部だからできる」ことを継続**  
第69回JA全国女性大会



東京のホテルでJA全国女性大会が開かれました。東海北陸地区を代表して、東南地区の二橋桂子さんが「地域と親子をつなぐために、私たちができること」と題した活動体験を発表。子育て世代と関わり、子どもたちへ食育活動を続けていく大切さを伝えました。

1  
15

**鉢植えで栽培技術を高める**  
第21回鉢植えセルリーコンクール

浜松洋菜共販運営委員会セルセンターで「はままつ洋菜鉢植えセルリーコンクール」を開きました。14人の生産者が出品し、伊藤孝明さんが金賞を受賞。これは、セルリーの栽培技術向上と産地のPRのために毎年行っています。

浜松洋菜共販幹事会は、東・中央営農センターで「はままつ洋菜鉢植えセルリーコンクール」を開きました。14人の生産者が出品し、伊藤孝明さんが金賞を受賞。これは、セルリーの栽培技術向上と産地のPRのために毎年行っています。